

すまいる

2021年7月15日発行

No.9

〈編集・発行〉栄聖仁会広報委員会



MY介護の広場

こちらのイラストは当院入院患者様の塗り絵作品です◎

病院理念

患者さま一人一人の
かけがえのない人生の
支えとなれるように、
人にやさしい医療・看護・介護を実践します

ごあいさつ

最高気温が気になる季節となりました。皆さま、お変わりありませんか？

日差しも夏の到来を知らせてくれています。世間ではワクチン接種や感染者数、感染対策と話題は絶えません。もちろん、感染しないよう心がけるのも重要ですが、気温が高くなると気を付けなくてはいけないのが、熱中症です。のどが渴いたと思う前に、こまめな水分摂取を心掛けたいものです。

最近では、自分の忍耐力を試されているような気持ちになります。安心できる日を迎えるため、気を引き締めていかなくては！と言いきかせながら、夏を体感しています。

(広報委員 松井)

認知症について

今月号は、当院院長より『認知症』
について詳しく説明します！

皆様は認知症と聞いてどのような状態を想像されるでしょうか？一般的には加齢による物忘れが目立つようになると「認知症」を心配される方が多いと思いますが、実際は「加齢による物忘れ」と「認知症」は違うものなのです。

「加齢による物忘れ」とは、人間の脳をタンスに例えると、タンスの引き出しの中のモノ(記憶)が取り出しにくくなっただけで、タンスの引き出しの中にはモノ(記憶)がちゃんとしまっている状態を指します。これに対して「認知症」とは、何らかの病気(アルツハイマー病、脳梗塞、脳出血や頭部外傷の後遺症、レビー小体病など)が原因でタンスの引き出しの中のモノ(記憶)が消えてなくなってしまったために、日常生活にまで支障をきたすようになった状態を指します。

仮に物忘れがあっても簡単なヒントがあればすぐに思い出せる、間違いを訂正できる状態であれば認知症の心配はしないで様子を見ても大丈夫です。

仕事、家事や日常生活動作など今まで問題なくできていたことで、ありえないような凡ミスや失敗を何度も繰り返すような場合や、妄想・幻視や抑うつなどの精神症状を伴う物忘れがある場合は近くの医療機関に相談してみると良いでしょう。

当院の感染対策



安心して入院生活を送って頂けるように、
万全な対策を行っております。

① 非接触型 IC カードの導入

入退室管理システム及び病棟への出入りの際に、
非接触型 IC カードを導入しました。



② 携帯用消毒液の使用

医師、看護師をはじめとして患者様と接触する機会が多いスタッフを
対象に、携帯用消毒液の使用を促しております。「1 手技、1 プッシュ」を
実践し、より安心して入院生活を送って頂く環境を整えています。



③サーマルカメラの設置

当院出入口にてサーマルカメラを設置し、職員や面会者、外部業者等の
自動検温を実施しています。マスクの有無も感知されますので、必ず
マスクを着用の上での測定をお願い致します。

④手指消毒剤の設置

病棟出入口や、食堂等、院内にて多くの人が接触する箇所に
手指消毒剤を設置しております。



ワクチン接種について



7/15日現在

当院では常勤・非常勤、外部の委託業者を含め、全ての職員が2回目のワクチンを接種済みです。

当院入院患者様は6月上旬をもって、65歳以上の希望者が全員接種済みです。

ワクチン接種の詳しい状況は、当院ホームページに逐次掲載しておりますので、ご確認ください。



医療法人社団聖仁会

栄聖仁会病院

〒247-0014

神奈川県横浜市栄区公田町 337-1

TEL: 045-895-0088 FAX: 045-893-6053